

特別実験・演習 I（1 年生）レポート作成上の注意点

● レポートの内容

- (1) 特別実験・演習 I のレポートは、前期 1 通、後期 1 通を提出して下さい。1 通あたり表紙を除いて 10 ページを目安（10 ページ以上も可）として下さい。
- (2) 特別実験・演習 I（1 年生）では、特別研究に関する内容であり、
- (a) 特別研究の基礎となる専門技術の歴史と現状を明らかにする内容を章として含むこと
 - (b) 特別研究で用いられる技術がどのように社会に影響を与えるかを考察している章を含むことが前期または後期のどちらかのレポートに必要です。（詳細はシラバスに書かれています。）

また、シラバスにもあるように、

- (a) ワードプロを用いること。
 - (b) 図、表を含めること。
 - (c) 数式を含めること。
 - (d) 作図ツール（表計算ソフト Excel の作図機能等）を用いること。
- を満たす必要があります。

● レポートの書式等

- レポートの表紙と本文は、必ずテンプレートを使用して下さい。
- 実験期間は、前期、後期とも 期間の最初の実験・演習の授業日の年月日からレポート提出日の年月日までに、
提出日は、指定された提出日の年月日として下さい。
（テンプレートには令和〇年〇月〇日が記入されています。）
- テンプレート中の赤字は記入後、黒字に変更してください。

● レポートの提出前にすること

(1) PDF 形式ファイルの作成

特別実験・演習のレポートは WORD 等のワープロ（TeX を含む）で作成した元ファイルとは別に、PDF 形式のファイルも合わせて提出してもらいます。

レポート作成に TeX を用いる場合は、スタイルファイルを用意していませんの

で、WORD ファイルを参考に同程度の書式で作成してください。

(2) PDF ファイルの方でレポートの内容確認

本レポートは後日、外部審査員が中身を見ることがあります。外部審査員は PDF 形式のファイルを見ます。ところが、WORD 上では問題無いのに、PDF にすると表示がおかしくなるなどの事象が何例か起きています。そこで、(1)で作成した PDF ファイルの中身をよく見て (PDF ファイルを印刷してから確認すると良い。) 内容や表記、レイアウトに問題が無いかどうかを確認して下さい。特に、WORD でページや図の参照機能を用いている場合には PDF ファイル上で、きちんと参照ができていることを確認すること。

● レポートの提出方法

レポートは、上記のようにワープロで作成したファイルと PDF ファイルの2つを提出してもらいます。指定された方法で提出してください。近年は、Teams で提出することが多くなっています。

● その他

- かならず、事前に指導教員に添削してもらってください。添削後の最終稿を提出するようにしてください。
- アップロードしたレポートと同じものを指導教員にも提出してください。
(指導教員はこのレポートを元に特別実験・演習の成績をつけますので、必ず提出してください)。